

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

KRPPRESS 11

2011
vol.121
NOVEMBER



知財ビジネスマッチングマーケット
大企業の知財を活かして
中小ベンチャー企業の
新規事業創出へ！



(左上) 中島工業株式会社 総務部 部長 兼 営業課長 小林 茂美 氏
(右上) 経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課 特許室 室長補佐 谷原 秀昭 氏
(左下) 一般社団法人 京都発明協会 福本 徹 氏 (右下) 一般社団法人 京都発明協会 専務理事 事務局長 伊地知 憲二 氏



コストと開発時間の短縮がはかれることは、企業にとっては大きなメリットです。

企業にとって有益な契約が結べるようサポートしていきたいです。

前向きなモノづくり企業にぜひ取り組んでほしいです。



知財ビジネスマッチングマートを語る座談会
開催：2011年10月6日、KRP4号館会議室にて
中小企業の持つ「技」× 大手企業の持つ「特許」

中小企業のニュービジネスの創出を探る。

特許技術が結実。ライセンス契約から製品化へ。

日本には110万件もの特許技術があるが、そのうちの多くは未利用で大企業が保有している。大企業にとってはコスト高や小さい市場しか見込めない特許も、中小・ベンチャー企業に移転して磨けば光るものが多い。大企業が特許と共に使用ノウハウを提供することで、ライセンス事業展開が拡がり、製品開発や高付加価値を目指す中小・ベンチャー企業を結びつけるのが知財マッチング事業。その事業がたった4ヶ月で実を結び、城陽市の中島工業(株)が富士通(株)とのライセンス契約を経て、製品化を実現した。

人と人が熱意を持って動き、キーパーソン同士が繋がればスピーディーに成果を出せると思います。



このマッチングが他地域でもより広がってほしい。



今回の知財ビジネスマッチングについて マッチング第1号の各関係者を招き振り返った。

座談会に集まったのはこのマッチングの立役者5名。富士通(株)とライセンス契約を結び第1号に輝いた中島工業(株)の小林氏、様々な専門的アドバイスに尽力された知財総合支援窓口の伊地知氏、そして主催者である近畿経済産業省の谷原氏、京都リサーチパーク(株) 成長起業支援部メンバー。それぞれの立場からみた知財ビジネスマッチングとは――

がりができたことが大きかったですね。皆が熱意を持ち一つの目標に向かった結果、信頼関係を伴った人的ネットワークができた。だからこそこれだけスピーディーに成果が出せたのではないのでしょうか。

大企業をも巻き込んだ熱意あるネットワーク

- 谷原**：「知財ビジネスマッチング事業」は、昨今の中小企業におけるオープンイノベーションの重要性の高まり、そして、富士通さんのような一部の大手企業の積極的なライセンス活動等の動きをとらまえ、知財を介した、地域主体のマッチング事業のあり方を検証するモデル事業という考えで今年度から新しく事業をスタートしました。
- 小林**：特許には堅いイメージがあるし、まだ形になっていないので、不安要素はたくさんありました。今回は具体的に今までの実績や商品への応用なども含めた紹介を交えてあり、イメージを抱き易かったですね。
- 伊地知**：企業間のライセンス交渉は成約まで時間が掛かります。特許のライセンスビジネスに積極的な富士通さんのような大企業と、中島工業さんのように技術移転に関心が高く、技術力を持った中小企業との出会いの場があれば、契約成立までの行程は随分早く、スムーズに運びます。今回のマッチングはまさにこのようなケースではないでしょうか。
- KRP**：このマッチングには大企業の責任者の方々や近畿地区に直直に来ていただけるのも強みです。これも私たちが三位一体となって取り組む姿勢にご安心いただいているからこそと思っています。
- 小林**：私たちが正直言って皆さんの熱意には驚きました。通常は私たちが手探りでコストと時間をかけてやるべき事がある程度クリアされていたのですから。
- 谷原**：それについては、KRP(株)のお力添えは勿論、何より吾妻部長、小林部長、そしてKRP(株)、知財窓口の担当者といったキーパーソンの繋

知財総合支援窓口を始めとする 万全のサポート体制

- KRP**：今回の成約は中島工業さんの真摯さの賜物。これからの知財ビジネスマッチングの礎となっただけだと感謝しています。この素晴らしい実績が、良いお手本となると確信しています。
- 谷原**：初めて中島工業さんに伺った時に、事業の説明や大手企業さんの特許技術の説明をしたのですが、それに対するレスポンスが本当に早かった。わずか数日で事業アイデアがメールで送られてきたんです。
- 小林**：当社の社長(中島睦夫氏)は「スピードとチャレンジ精神」を常に明言していますから。それに知財総合支援窓口さんのアドバイスも的確でした。具体的に特許にある期限などにも言及し、これが利益に結びつくまでアドバイスをいただきました。
- 伊地知**：ライセンス契約するには、技術移転、ライセンス契約に関心が高くても、商品を製造、販売してビジネスで成功するという見込み、確信めいたものが必要です。ビジネス成功・不成功に関わるライセンス条件交渉でのアドバイス、サポートが大切だと思います。
- 谷原**：本年度からスタートした知財総合支援窓口は、知財の専門家が常駐していますし、高度に専門的な相談にも、弁理士や弁護士など様々な専門家が対応できるようになっています。この窓口を上手く活用されたのではないのでしょうか。
- 伊地知**：大企業が提示してきた条件に対して、中小企業が留意すべき点、要求すべき点などをアドバイスすることができ、我々もやりがいがありました。今回は双方にとってフェアな契約を結ぶようにお力添えできたと思っています。



経済産業省 近畿経済産業局
地域経済部 産業技術課 特許室
室長補佐
谷原 秀昭 氏



一般社団法人 京都発明協会
専務理事 事務局長
伊地知 憲二 氏



中島工業(株)
総務部 部長 兼 営業課長
小林 茂美 氏



京都リサーチパーク(株)
成長企業支援部長
岡田 直樹 氏



京都リサーチパーク(株)
成長企業支援部
近兼 敏 氏

近畿発で広げるべきモデル的成功例

- 小林**：私たちは大企業さんの特許技術を使う事で、その特許開発にまつわる時間を購入しているのだと考えることも大切です。こうして得た時間を中小企業なりに有効活用し、将来を見据えた事業計画をしっかりと立てる。そうでないと、いくら良い特許技術に巡り会っても駄目でしょう。
- 伊地知**：そうですね。中島工業さんは新しいものを作り、付加価値商品を生み出す機運、熱意をお持ちですね。
- 小林**：当社は「常に独創的なモノづくり」を目指しています。今後はこの事業を通して出来上がった製品が当社の収益の1つの柱となるよう販売していくことが課題です。また、富士通さんと共同で出願できる新たな特許となるように改良や開発も進めていきたいところです。
- 谷原**：そうならば中小企業にとって、特許出願が「コスト」ではなく、新たな付加価値を生み出す「投資」という考え方が定着してきますね。知財活用の重要性について意識啓発していくことが重要だと思います。
- KRP**：川崎市の取り組みを私たちにに应用工夫を凝らしたこのマッチング。また他の地域に評価、分析いただいて、新たなマッチングが広がっていくといいですね。
- 谷原**：そうですね。川崎さんも地域に根付いたマッチング事業を展開されておられますが、やはり最後は人と人との繋がりがあって初めて。地域主体のマッチング事業の成功は、信頼関係を伴う人的ネットワークが鍵。そんなことを実感しながら、この成果を踏まえたマッチングの仕組み作りの必要性を感じているところです。

「知財ビジネスマッチングマート京都」に参加して

この度は「知財ビジネスマッチングマート京都」に参加させて頂きまして有難うございました。大手企業の知的財産を活用した新商品(ビジネス)の開発は、地域企業様にとっては謎だらけ(特許クレーム、契約内容、ロイヤリティ...)で敬遠されがちでしたが、「知財ビジネスマッチングマート京都」のプログラムは、謎の一部を解き明かすものでした。また、ライセンス企業社長の講演は、参加企業のモチベーションを上げたと感じました。知財マッチングで重要な事は、ライセンス契約締結がゴールではなくスタートであり、ライセンスの新商品を、ライセンサーを含めた関係者のネットワークを最大限に活用し拡販し利益を上げて行く事にあります。今後の「知財マッチングマート」では、今回以上に「顧客(ライセンサー)の顧客」つまり、ライセンサー商品の出口に注視した会にして頂ければ、参加企業にとってより有効で密度の濃い会になると思います。また、日本国内に留まらず海外にも容易にライセンサーの商品を販売していける仕組みの構築を是非お願い申し上げます。この素晴らしいマッチングマートを近畿地区より全国に広げて頂ければ幸いです。微力ではありますが当社も全力でお手伝い致します。



富士通(株) 知的財産権本部
ビジネス開発部長 吾妻 勝浩 氏



京都府企画理事
山下 晃正 氏

夢に燃え、産業創造エリアづくりに取り組んだのがつい先日、否、開発は西へと進み一大エリアを形成、その成果でもって創造者大賞に！時代は、産業創造から生活創造に、KRPはそのフロント・ランナー。時代を導く創造者たらんことを。



京都商工会議所 専務理事
奥原 恒興 氏

受賞おめでとうございます。産学公の拠点として永くベンチャー企業の成長を支援されていることが顕彰委員会が高く評価されました。全国初の民間リサーチパークとしての強みを活かして、今後も、創造的ベンチャー企業が集まり、交流する「まち」として更なる発展をされることを期待しております。



京都市産業観光局長
前 財団法人京都高度技術研究所 専務理事
白須 正 氏

京都にKRPがなかったら、「ベンチャービジネスのメッカ・京都」は過去形になり、産学公連携のトップを走ることも難しかったに違いありません。KRPの素晴らしいところは、絶えず進化しているところです。一層の発展を期待しております。



京都府中小企業技術センター
所長 小林 章一 氏

このたびの受賞は、産学公連携の拠点として20余年にわたりベンチャー企業等の成長を支援してきた多くの方々の地道な努力、功績が評価されたものです。私どもも引き続き力を合わせ地元企業の支援に邁進したいと決意を新たにしております。



公益財団法人 京都産業21
専務理事 家次 昭 氏

京都創造者大賞2011「京都創造者賞企業部門」の受賞をともに祝いたいと思います。私ども（公財）京都産業21もKRPに立地する公的な産業支援機関として、栄えある受賞を機に府内中小企業様の企業活動を一層しっかりとご支援してゆく所存です。



一般社団法人 京都発明協会
専務理事 伊地知 憲二 氏

今回の受賞は、京都発明協会としても大変喜ばしいことです。今後とも府内における中小・ベンチャー企業等の知財支援拠点として、関係機関との連携を図り、皆様のお役に立てることを念頭に事業活動を進めて参ります。

おかげさまでKRP地区が京都創造者大賞20 11「京都創造者賞企業部門」を受賞しました

京都府域における「京都ブランド」のイメージアップや京都の都市格向上に著しく貢献している事例を称え、その功績を国内外に発信することを目的に設立された京都創造者大賞。特に顕著な功績が認められる個人、法人、団体に贈られる大賞の他、「もてなし・環境」「アート・文化」

「企業」「未来への飛翔」の4部門で京都創造者賞が授与されます。第5回目を迎えた今年、京都リサーチパーク地区が20余年に亘る産学公連携拠点としての活動やベンチャー企業支援活動等を評価され、「企業部門」を受賞しました。



京都市産業技術研究所
副所長 淀野 実 氏

KRPに統合立地し1年。知恵産業融合センターも誕生しました。KRPは、伝統と革新の風土、オール京都の力が結集し今なお成長を続けています。多くの企業が地区の中で成長し、この地に来れば何かを得ていただけるよう、産業支援機関の任を果たして参ります。



財団法人 京都高度技術研究所
専務理事 江川 博 氏

常に創造の先端を期待される京都で、地区の長年の活動が高く評価されたことはKRPとともに歩んできたASTEMにとっても望外の喜びです。今後も多くの皆様と、日本の産業発展・活性化に貢献できるようKRPを発展させていきたいと思います。



インタクト株式会社
代表取締役 則内 健司 氏

多層的な支援体制を擁する「集・交・創」のKRPでテナント第一号として創業したからこそ、私たちの革新的な製品群が生まれたと思います。今後とも、入居者の創造性を存分に発揮できる機会がこの地で提供され続けることを祈念します。



オブテックス・エフェー株式会社^{*1}
ジックオブテックス株式会社^{*2}
代表取締役 小國 勇 氏

当社^{*2}はKRP開設と同年設立。07年には関連会社^{*1}も移転し、産業用センサの分野でナンバーワンとなるべく取り組んでまいりました。この受賞は喜ばしく、今後もこの地で、更なる成長を目指し、京都の活性化にも貢献していきたいと思います。



株式会社ゴビ
代表取締役 島田 幸廣 氏

KRPは日本のハイテクパークの先駆けとして、産学官一体となった活動でブランドイメージを築いてきました。この連携を強化し、これからも古き京都の最先端の研究開発拠点として、皆様方とともに発展していきたいと思います。

京都大学百周年時計台記念館にて9月20日（火） 授賞式が行われました。

記念の表彰状とトロフィーは京都リサーチパーク地区を代表して、京都リサーチパーク（株）左納徹郎代表取締役社長に授与されました。トロフィー「創造の息吹」は伝統のうえに新しく生み出される創造の心が象徴されており、表彰状は京都府の無形文化財である黒谷和紙が使用されています。
(KRP1号館ロビーに展示されています)



最先端の研究開発・ものづくりに携わる研究者のために

KISTICの2大プロジェクトに備えた最先端の研究開発支援機器群

京都のモノづくり技術や研究開発力の向上と発展を目的に、京都市の運営によりKISTICと桂イノベーションパークで展開する京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」の開所式から3ヶ月。KISTICでは「先端光加工プロジェクト」と「バイオ計測プロジェクト」の両プロジェクトが最先端の研究開発支援機器群を備え、始動している。これらの機器が利用できる環境は大学、企業、公設研究機関等の研究者の注目を集めている。

光加工とバイオ計測、両プロジェクトの特徴とその機器

平尾一之教授(京都大学)が代表の「先端光加工プロジェクト」では機器12台を導入している(内1台がKISTIC設置)。中でも高精度レーザー、フェムト秒レーザー加工装置は従来は不可能であった複雑な内部構造を持つ造形創作を可能にする。近年高まる迅速な試作品提供、また個々のニーズに応じた少量生産の需要に応えるため、既に多くの専門企業からの申し入れを受けているという。

植田充美教授(京都大学)が代表の「バイオ計測プロジェクト」では約50台にも及ぶ分析計測機器を京都バイオ計測センターに備えた。医療、

環境、食品などの幅広い分野において必須となるのが、バイオ計測技術である。MALDI質量分析装置やSPR(表面プラズモン共鳴)相互作用分析装置などバイオやライフイノベーション分野での分析計測に特化した機器を備えている。また、いくつかの機関では、外部に分析計測依頼を出して結果を得ることで分析計測手法が習熟できないという課題を抱えていたが、これらの機器は専門の先生方などが技術的なサポートも行う。講習を受けた上で実際に機器を扱い分析計測を行えるというシステムは、研究開発の活性化だけでなく、機器分析の行える人材育成も念頭に置かれている。

どうすれば使える?利用システムと留意点

機器は大学、企業、公設研究機関等に広く開放されている。またサポート体制も整備されており、専門家・機器メーカー担当者による講習会を開催するとともに、専門スタッフが技術指導を行う。

なお、共同研究と人材育成を目的とした施設であるため、依頼試験は受け付けておらず、加工や分析に必要な材料なども利用者の持ち込みを原則としている。

また、専門分野の経験者でなければ活用できない機器も多い。そのため、機器の利用には事前の相談が必要。利用は原則有料であるが、大学の研究者等が利用する場合は無料になることもある。

※詳細は各プロジェクトのウェブサイトや窓口でご確認下さい。

先端光加工プロジェクト

KISTIC地下1階
次世代レーザープロセッシング技術研究組合



金属光造形複合加工装置

高出力レーザーの照射による金属粉末の焼結と精密工具による焼結体の切削仕上げを複合させた造形加工装置

窓口

次世代レーザープロセッシング技術研究組合
時間: 9:30~16:30
TEL: 075-383-1315
FAX: 075-394-8071
E-mail: info@laserprocessing.jp
URL: http://www.laserprocessing.jp/

バイオ計測プロジェクト KISTIC4階 京都バイオ計測センター



JSANデスクトップ・セルソーター

細胞を高純度、高回収率で分取



高分解能多重質量分析装置
LTQ Orbitrap Velos ETD

タンパク質・代謝産物の同定、微量成分分析、定性・定量同時分析



MALDI-質量分析装置
AXIMA Performance

ペプチド(タンパク質断片)などの同定解析



SPR(表面プラズモン共鳴)相互作用解析装置
Biacore T200

生体分子の相互作用解析

窓口

京都バイオ計測センター運営事務局
(財)京都高度技術研究所 産学連携事業部 連携支援グループ
開館日: 月曜日~金曜日(12/29~1/3 及び祝日を除く) 時間: 9:00~17:45
TEL: 075-315-3643 FAX: 075-925-5491
E-mail: kist-bic@astem.or.jp URL: http://www.astem.or.jp/kist-bic/



京都府中小企業技術センター研究発表会

日時: 2011年9月27日(火) 14:00~17:10
会場: 京都府産業支援センター 5階 研修室
主催: 京都府中小企業技術センター、京都府中小企業技術センター協会

多岐にわたる研究発表を通して新たな技術革新を目指す。

京都府中小企業技術センターが企業と連携しながら進めている研究の発表会を今年も開催。多岐にわたる研究発表は遠隔地にも同時ライブ中継され、技術や企業同士が出会い、新たな可能性を生む場となった。



例年は外部から招いた講師による特別講演が催され、テーマに関係する業界からの参加者が多い、この研究発表会。今年も企業との共同研究も含めた研究発表にプログラムは絞られたが、材料系をテーマとする研究が多かったこともあって、機械・金属系企業を中心に来場者は昨年を上回った。



開会にあたって、センター所長の小林章一氏の開会挨拶が行われた。「イノベーションとは日本語で技術革新と訳されるが、私自身は偶然の出会いやきっかけから新しいものが生み出されることだと思っている。そういう意味では「瓢箪から駒」との表現が適切。この研究発表の場が、職員との、また出席者同士の新しい出会いの場になれば幸い」と、公設の試験研究機関として企業との太いパイプや絆作りに対する重要性を説いた。今回は綾部



と丹後の2カ所にも同時ライブ中継し、各プログラムやポスターセッションで設けられた質疑応答時間には、その中継先からも質問を募るなど、参加者との積極的な意見交換を意識しながら会は進められた。

企業との共同研究2題は来場者の反響も大きく今回のメインプログラムと言えるものであった。まずは国産部品工業(株)の寺崎氏

が紹介したスパイラーを用いたマイクロ水力発電装置の試作開発。異業種交流も念頭においたこの研究では、コンベア向けスパイラーの製造販売を行う(株)京スパ、機械装置の設計製造販売の(株)エナミ精機を合わせた3社の技術力を活かしながら、中丹技術支援室が支援する形で進められた。実際の河川での発電実験データも紹介しながら、更なる改良に向けて継続中であるとの報告があった。



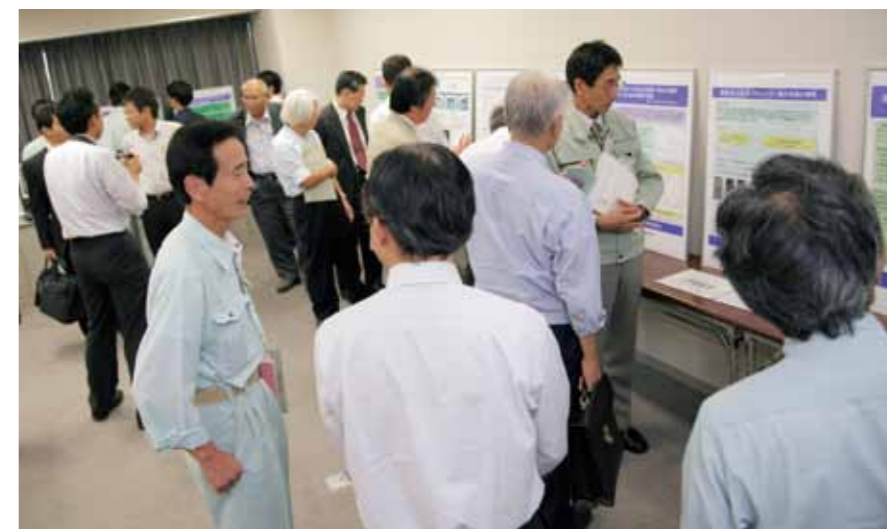
続いては朝日レントゲン工業(株)が国立舞鶴工業専門学校と当センターと共同で進めた「間欠X線パルスを用いた歯科用X線断層投影装置の開発」について。とっつき難いテーマではあるが、本装置の目的は、レントゲン撮影において患者の被曝線量を1/3に低減する機能を備える装置で、軽量化や省電力化も含めての実現だ。先の研究発表でもそうだが、震災後高まる日本の電力供給のやり方や、放射線被曝という時事トピックにも通じ

る時代と呼応したテーマとなっていた。



京都大学大学院エネルギー科学研究科による委託研究では、熱伝導によって鋳物部材のき裂を検査するためのメカニズムの検討という、これまでになかった技術開発の成果がまとめられた。また職員による発表は材料から化学・環境、電気や食品分野から情報・デザイン分野まで多岐分野にわたった。各持ち時間こそ短かったが、多くの研究成果を知ることができた、また関連企業で使えそうで興味深かったと来場者は話し、いかに関心を集めたかが伺い知れた。

最後のポスターセッションでは、中継先も含めて研究担当者に熱心に質問する光景も見られ、開会挨拶で小林氏が強調した出会いの場としての役割も十分に果たす、充実した研究発表会となった。



〈 専門家との直接意見交換シンポジウム in KRP Part IV 〉 臨床現場で進む再生医療の現実と モノづくりから見た産業化の展望

日時:9月21日(水) 9:30~17:40(交流会18:00~)
会場:◆シンポジウム:KRP1号館 4階 サイエンスホール
◆交流会:KRP東地区 アトリウム
主催:京都リサーチパーク(株)
後援:近畿経済産業局、(独)科学技術振興機構、京都府、京都市、
京都商工会議所、(社)京都工業会、京都産学公連携機構

再生医療分野に見いだせる、 新たなビジネスチャンス。

今や世界規模で研究開発競争が行われている再生医療とその周辺分野。高水準のモノづくりを誇る日本企業がいかにかに参入できるのか。名だたる専門家を招き、新たな日本の基幹産業化へ向けたシンポジウムを開催。

長年の研究がやっと花開きかけ、実現化しつつある再生医療。この医療分野をとりまく環境では、モノづくり技術の高さで知られる日本企業の参入が大いに期待されている。しかし、やはり医療分野。専門的知識を持たない企業にとってはなかなか参入しにくいところ。その橋渡しとなるべく、KRP(株)が立ち上げたのが「再生医療プラットフォーム」であり、その活動の一環として大々的に行われたのが「臨床現場で進む再生医療の現実とモノづくりから見た産業化の展望」と題された、このシンポジウムだ。

当日は台風が到来して生憎の荒れた天候となったが、心配をよそに会場には数多くの参加者が集まった。京都大学再生医科学研究所教授であり、各プログラムの座長も務めた田畑氏は、「一方通行の専門的な講義ではなく座談会のような雰囲気皆さんの理解を深めていきたい」と独特の魅力的な口調で冒頭のオーバービューを述べられた。再生医療の定義から、いかにモノづくり企業が参入できるかなど、例えを用いながら簡潔に説明されたこのひとりで、以降の専門的な話の理解度も変わったのではないだろうか。



田畑 泰彦氏

引き続き網膜再生医療研究チームのチームリーダーである高橋氏が眼科の分野から、また既に再生医療に取り組む企業として住友ベークライト(株)の福島氏が講演され、シンポジウムは午後の部へと移った。

午後の部は、臨床分野の磯貝氏と材料分野の田畑氏による対談から始まり、お互いの立場から再生医療の現状認識と産業化に向けた戦略が対談形式で議論された。

各分野のパネリストを招いて行われた講演に続き、結びのパネルディスカッションは全パネリストを一同に会し、2時間を割いて行われた。田畑氏の言葉の通り、参加者が積極的に巻き込んでの質疑応答に会場の熱気も高まり、シンポジウムの意義を十分に謳ったハイライトとなったのではないだろうか。



pickup!

基調講演-1

- ◆テーマ iPS/ES細胞を用いた再生医療と事業化
- ◆講師 高橋 政代 氏
(独)理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
網膜再生医療研究チーム チームリーダー(眼科医)
- ◆座長 田畑 泰彦 氏(京都大学 再生医科学研究所 教授)

網膜再生医療のスペシャリスト、 高橋先生による事業化を視野に入れた基調講演。

既に実用段階にある網膜再生医療を担う高橋氏(網膜再生医療研究チーム・チームリーダー)は細胞を用いた再生医療とその事業化について基調講演を行った。「細胞を置き換えるのか、細胞の栄養因子を用いるのか、目的が何かをはっきりさせることが重要。それによって規格も変わってくる」と、再生医療の中枢を担うiPS細胞やES細胞の特性にも言及しつつ、事業として細胞を扱う際の留意点などが分かり易く解説されていた。



高橋 政代 氏

対談

- ◆テーマ 臨床分野立場と材料分野立場からの再生医療の現状認識と産業化に向けた戦略
- ◆対談者 <臨床分野>磯貝 典孝 氏
(近畿大学 医学部 形成外科 主任教授)
- <材料分野>田畑 泰彦 氏
(京都大学 再生医科学研究所 教授)

細胞事業だけでなく、日本企業の技術力に 期待が募る形成外科手術を支えるモノづくり

鉄工所育ちだという磯貝氏(近畿大学 医学部 形成外科学主任教授)は実際の手術シーンの映像を交えながら、形成外科手術の現場で高まる道具類へのニーズと市場の問題までも含めた講演を行った。その後は田畑氏を加えた対談へ。日本での臨床研究の難しさなど規制問題にも触れつつ、高いコラボレーション能力が日本の強みなど、世界的に活躍する磯貝氏ならではの意見を交えながら、日本企業の技術参入の可能性が議論された。



磯貝 典孝 氏 田畑 泰彦 氏

専門家と参加者との意見交換(パネルディスカッション)

- ◆テーマ 臨床現場で進む再生医療の現実とモノづくりから見た産業化の展望
参加者の方から事前にいただいた質問事項や対談での課題をもとに、再生医療の産業化(幹細胞・再生医療ビジネス)について、パネリストとフロアが自由に意見交換
- ◆モデレーター 田畑 泰彦 氏(京都大学 再生医科学研究所 教授)
- ◆パネリスト
高橋 政代 氏 ((独)理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
網膜再生医療研究チーム チームリーダー(眼科医))
福島 雅夫 氏 (住友ベークライト(株) S-バイオ事業部 研究部 部長)
磯貝 典孝 氏 (近畿大学 医学部 形成外科 主任教授)
斎藤 群 氏 (経済産業省 生物化学産業課長)
紀ノ岡 正博 氏 (大阪大学大学院 工学研究科 教授)
梅澤 明弘 氏 ((独)国立成育医療研究センター再生医療センター
センター長/生殖・細胞医療研究部 部長)
吉川 典子 氏 ((公財)神戸国際医療交流財団 国際医療開発
センター(IMDA)コーディネーター)

各分野の専門パネリストを一同に会し、 白熱したパネルディスカッション

再生医療にまつわる分野について各パネリストが最新情報の紹介をされた後、午前中に基礎講演を行われた講師も招き、各分野の専門家が一同に会しての質疑応答が行われた。参加者からは、市場はどれくらいの規模か、量産化まではどのように耐えるのか、など具体的な展望について質問が投げかけられた。その回答は決して楽観的なものではなかったが、再生医療分野へ参入するヒントが様々な形で提示される有益な時間となった。

伝統+INNOVATION 「京の伝統工芸グループ展」



「伝統工芸+デザイン講座」で開発した 試作品を国際見本市に出展。 伝統の技は新たなステージへ。

インテックス大阪で開催されたLIVING&DESIGNに「伝統工芸+デザイン講座」参加企業の4社が合同で出展しました。この講座は、京都市産業技術研究所の「イノベーション創生事業」の一環として、KRP(株)と共同で開催したものです。「京の伝統工芸に新風を吹き込む製品開発を!」という呼びかけに様々な業種の企業が集まり、プロダクトデザイナーの喜多俊之氏の指導のもとで、伝統の技を活かすつつ新しい生活空間を提案することを目標に掲げ、約1年間をかけて開発に取り組んできました。～伝統+INNOVATION～「京の伝統工芸グループ展」と題して出展したブースには、多くの方々の来場があり大変高い評価をいただきました。ご来場された他の企業とのコラボレーションが実現し、パリの国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」への出展につながるなどの事例も出てきています。京都市産業技術研究所とKRP(株)は今後も会場のアンケートなどを参考にしながら企業の製品開発を支援していきます。



LIVING&DESIGN
日程:2011年9月14日(水)~17日(土)
場所:インテックス大阪2号館
主催:(社)大阪国際見本市委員会(大阪府・大阪市・
大阪商工会議所・(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)で構成)
住空間を軸に、今までにないビジネスの新しい可能性が広がる国際見本市として2009年に開催され、大きな反響がありました。今年はLIVING&DESIGNサテライトや御堂筋デザインストリートなど広範囲にわたるイベントが同時に展開されました。



「伝統工芸+デザイン講座」参加企業からのコメント

- 今まで接していなかった建築関係の方に商品を見ていただき、新分野での可能性を感じました。
- 見本市の来場者や他の出展者と、今回展示した製品などの情報交換をすることができ貴重な機会となりました。
- 今までの顧客と違った方々を対象とする商品を作ったので人の目に触れる必要性を感じていました。今回の見本市は良い機会となりました。



KRP9号館が グッドデザイン賞と 日経ニューオフィス賞を 受賞!

GOOD DESIGN グッドデザイン賞

KRP9号館の建築計画とサイン計画が、10月3日グッドデザイン賞を2部門において受賞しました。オフィス空間に求められるものが「効率的空間」から「知識創造の場」へと変化しているなか、KRP9号館では企業間のコミュニケーションを促進させる空間づくりを進め、知識創造に寄与できるオフィス空間づくりを目指しました。京都で活動をする企業様に、この場所を「ホームポジション」と感じていただきたい。それによって京都の産業が活性化することに寄与したいと考えた計画が評価され受賞に至りました。



グッドデザイン賞
総合的なデザイン推奨制度で、1957年に通商産業省により誕生しました。生活と産業を結び、社会を発展させる力を持った優れたデザインを選定する賞です。

グッドデザインエキスポ2011会場
於:東京ビッグサイト

日経ニューオフィス賞近畿ブロック特別賞

第24回日経ニューオフィス賞の表彰式が9月2日大阪キャッセルホテルで行われ、近畿ブロック特別賞を受賞しました。第二部のシンポジウムでは「なぜ京都はグローバル企業を育てるのか」というテーマのもと、(株)フューチャースピリッツ ソリューション本部長 河本 暁宏氏、(株)日建設計主管 岡田 泰典氏、KRP(株) 鈴川 和哉営業開発部長の3名によるパネルディスカッションが行われました。KRP(株)は地区の概要とコンセプトを交えつつ地区のまちづくりを、岡田氏は9号館にも取り入れた京都の界隈性を、そして河本氏からは入居者側からみた地区および9号館の魅力を語っていただきました。オフィス室内に絞って評価する同賞のなかで、「豊かな共用部によって企業活動を高める」という視点を提示することができました。



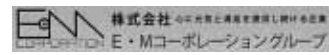
日経ニューオフィス賞近畿ブロック



(左側写真)パネルディスカッション風景 (右側写真 左から)(株)日建設計 岡田 泰典氏、(株)フューチャースピリッツ 河本 暁宏氏、KRP(株) 営業開発部 鈴川 和哉、岸野 麻衣子

Newcomer

新しい入居企業様の紹介



株式会社 E・M コーポレーション

スタジオ棟2F

京都、滋賀、兵庫地域においてラーメン店、居酒屋、焼肉店などの飲食事業を精力的に展開。"らーめん川藤屋"ブランドにおいてはフランチャイズ事業も展開中。また、飲食事業の経営ノウハウを生かし、飲食店のプロデュース事業、営業プロモーション支援事業など幅広く事業を手掛けております。



川本 泰幸 代表取締役

株式会社E・Mコーポレーション ●TEL/075-323-3000 ●FAX/075-323-3400
●MAIL/info@emcg.jp ●URL/http://www.emcg.jp



株式会社エイチ・アイ・ティ

ASTEM 7F

観光都市「京都」において、一人でも多くの方に「京都に来て良かった」と感じて頂くことを目的に京都検定を取得した「京都通」のタクシードライバー達で立ち上げた企業です。主な事業として「貸切（観光）タクシーに関わるコンサルティング」「Webの活用による集客のコンサルティング」「タクシードライバー向け研修事業」等を展開しています。京都の観光案内については是非、弊社にご用命下さい。



株式会社エイチ・アイ・ティ ●TEL/075-315-8844 ●FAX/075-315-8844
川上 孝 代表取締役 ●MAIL/tour@kyoto-kanko-manzoku.com ●URL/http://www.kyoto-kanko-manzoku.com



株式会社シーリージャパン 京都オフィス

KRP8号館3F

全米シェアNo.1ベッドブランド!外資系一流ホテル多数納品。(シェラトンホテル、フォーシーズンホテル等) マットレスの寝心地を8号棟307号室でお試しいただけます。シーリーベッドのパンフレット等のご要望やご質問も受け賜っておりますので、一度お越しください。ラグジュアリーな眠りをご提案致します。……



株式会社シーリージャパン 京都オフィス ●TEL/075-322-8211 ●FAX/075-322-8212
奥 光博 グループリーダー ●MAIL/mitsuhiko.oku@sealy-bed.co.jp ●URL/http://www.sealy-bed.co.jp

targeting ターゲティング株式会社

KRP6号館3F

ターゲティング株式会社は「マネタイズ・エージェンシー」として、技術ベンチャーおよびメディア運営企業、個人メディアの収益化に取り組んでおります。サイト内検索最適化&収益化エンジンのpopIn社(東京大学エッジキャピタル支援の東大発ベンチャー企業)の出版社・新聞社への導入支援や小学館「cancam.TV」「AneCan.TV」「NEWSポストセブン」扶桑社「日刊SPA!」、SONYなどのメーカーサイトのメディア収益化支援、KAYAC社の音声SNS「こえ部」、個人メディアとしては「ホリエモン(堀江貴文)のブログ・twitter」などの収益化支援を行っております。



日本を代表するニュースメディアもマネタイズ支援しております。

ターゲティング株式会社 ●TEL/[本社] 03-6459-4408 ●FAX/[本社] 03-6459-4406
藤田 誠 代表取締役 ●MAIL/info@targeting.jp ●URL/http://www.targeting.co.jp



株式会社パートナー 京都デザインセンター

KRP2号館2F

1. 技術製品の設計、製図の受託 およびその他付帯サービス
 2. エンジニア派遣(般 11-010005)
 3. 人材紹介サービス(紹 11-ユ-010022)
- 製作したい物があるが方法がわからない、アイデアはあるが形にするまでを任せたい。と、いう方は当社までご連絡ください。また「人」にかかわるご相談もいつでも歓迎いたします。



●TEL/075-325-1570 ●FAX/075-325-1569 ●MAIL/yonemura@8107.co.jp ●URL/http://www.8107.co.jp/

ものづくりの拠点を社内ベンチャー的な形で立ち上げました。何でもご相談ください。京都デザインセンター責任者 米村 永(ひさし)

KRP People

ここにこの人

KRP PeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。



ターゲティング株式会社 代表取締役

藤田 誠氏 (6号館3F)

明治大学商学部を卒業後、広告代理店業務を経て、2005年に株式会社ライブドアに入社。インターネットサイトの広告事業に携わる。2007年4月にメディア事業部の別会社化を機に独立し、ターゲティング株式会社を設立。代表取締役兼シニアプロデューサーという肩書きながら、営業マンとしても常に現場でも活躍する。サーフィンを趣味とし、現在は鎌倉に住居を構える。

サーフィンは実力と競争の世界。育まれたチャレンジ精神は僕の仕事観にもつながっていますね。

当社ではマネタイズエージェンシーとあって、メディア企業の収益の最大化を図るという代理店業務の内でも少し特殊なビジネスを行っています。ネットでの収益方法や媒体形態のトレンドなどを把握し、コンサルタントとして媒体主に提案を行うのです。実際にサイトを立ち上げて運用し、営業もする。このような総合的な形態は当社ならではの。起業当時は他に類を見ないものでしたし、未だに少ない業態ですね。

休日は26歳から始めたサーフィンに熱中しています。様々な人が裸一貫で海に入って競い勝ち残り、実力がものをいう世界が良いんですよ。それに、現役の選手であり続けるのも僕の性に合っているのだと思います。経営もしつつ、未だに僕は営業マンとして現場に出ます。サーフィンを通して育まれたチャレンジ精神は様々な形で僕のビジネスに活かしています。

現場を知っているからこそ、説得力のある提案ができるのも営業をするメリットですね。メディア業界の進歩は早いですし、様々な形で収集した情報は重要なファクターとなります。最近では東北復興を支援するために「東北産」というブログメディアも立ち上げました。ネットからかき集めた東北の食やイベントなどを僕らなりの言葉で継続性に重きを置いて紹介しています。つながりやコミュニティが生まれたりもするんですよ。

そんな風に最近ではネットでの関係が、イベント事などリアルな形へと発展する傾向が多いですね。だから僕は、より日常的で身近な話題を扱う各都市ごとのブロックのコミュニティがネット上で形成されてくると予測している。そのとっかかりとしての拠点が京都。世界的にも知名度があってパワーのある街で、歴史や伝統性も人を魅了する力があります。またこれからのビジネスを考えて、IT系企業などが集まる場所が適切だと思いKRP地区に入居しました。ここを新たな拠点として、今ちょうど色々画策しているところですね。



株式会社シーリージャパン 京都オフィス グループリーダー

奥 光博氏 (8号館3F)

地元である奈良県の大学卒業後、広告代理店に勤務。営業職を通してあらゆる得意先への販促PRやサインディスプレイ等に携わる。その後、食品メーカーを経てシーリージャパンに入社。関西営業所での勤務を経て京都オフィス設立と同時に異動。得意先への拡販を目指す。高校時代から最近まで続けていたサッカーを現在は引退。家族との時間を大切に2児のパパでもある。

京都独特の趣を活かした企画を構想中です。私個人としても、この街がとても楽しみなんですよ。

当社は全米NO.1のシェアを誇るベッドメーカーです。アメリカでは130年の歴史をもち、世界30カ国以上で愛用されているベッドメーカーです。業界に先駆けて整形外科医の協力のもと、独自の快眠テクノロジーを開発。身体の凹凸や体圧を分散し理想の寝姿勢をサポートすることが出来るので、世界の一流ホテルに広く選ばれています。また最近では石田純一さんやモデルの押切もえさんなどもシーリーベッドを愛用されています。

私自身、昔やっていたサッカーの影響で腰が悪いのですが、実際にベッド業界にいると高品質のマットレスの心地よさを実感しました。ベッドって重要なな、と。また現代人の平均睡眠時間は5~6時間だそうですが、脳の疲れをとるには睡眠が浅いので大切に考えていきたいですね。日本でもより沢山の方々にベッドの大切さを知っていただきたいと思っています。

関西では大阪の心斎橋に営業所とショールームを構えているのですが、京都にも得意先が多く、拡販を進めていく方針で、ここKRP地区に入居しました。セキュリティも整っているし、異業種交流も活発ですよ。私たちが積極的に参加していきたいと思っています。

実は今、京都での催事もイメージを膨らませながら構想中です。京都に来てから初めての催事にもなりますし、近いうちに実現して成功させたいですね。

私個人の話ですが、最近釣りを始めようかなと思っているんです。というのも、先日、知人に誘われて釣り上げたハマチの美味しさに魅了されて。まあ、釣りたい、というよりは、食べたいという気持ちから(笑)。それに、魚や薄味のお料理も昔とは違ってずいぶん好きになってきました。京都に勤務していることだし、京料理なんかも試してみたいなと、楽しみにしているところです。

紅葉と共に味わいたい東福寺方丈庭園の空間美。



東福寺通天橋

KRP9号館のランドスケープ設計を担当された日建設の小松良朗氏にご紹介いただきました。

東福寺方丈庭園は、作庭家重森三玲^{みれい}氏の名作です。庭園は東西南北の4つの庭からなり、北斗七星の庭をはじめ、蓬萊、五山、市松、井田等の八つのモチーフが「八相成道^{はっそうじょうどう}」(お釈迦様の生涯の八つの重要な出来事)に因んで作庭されていることから、「八相の庭」と命名されています。

たとえば、規則正しく並んだ石が奥にいくにつれて背景に溶け込むような構成は、西に誕生した仏教が発展的に東に広がるさまを表現しているといわれています。「見たて」「ずらし」「隅掛け」等の日本的な空間美を意識したモダンな意匠の美しさに加え、そのようなストーリーを美しく昇華させた作庭が重森氏の素晴らしい点です。私は

その無限の広がりを感じさせる風景にインスピレーションを受けKRP9号館のランドスケープ設計をしました。昇り庭は「龍門瀑」をモチーフとした現代的な枯山水とし、「登龍門」という言葉の通り、滝を昇る鯉のごときベンチャー達の上昇志向を表現しています。方丈庭園同様、限られた材料を日本的な空間美の作法によりデザインし、研ぎ澄まされた凜とした空間でありつつも、深みのある空間となりました。

また、上昇感を感じさせる市松パターンの配置は、幾度となく様々な角度からの眺めを想像し、スケッチを重ねました。植栽や壁面、石の仕上等については慎重に材料やディテールを決定し、京都という土地がもつ風情を細部に織り込んでいます。昇り庭を囲む通路を行き交う上下階の人の動きや、立体的な市松パターンが徐々に自然に溶け込んでいく様を感じていただければ幸いです。

深まり行く秋。東福寺の通天橋の紅葉と共に、方丈庭園の美しさも是非感じていただきたいです。そして昇り庭と見比べてみるのも一興ではないでしょうか。

●東福寺サイト <http://www.tofukuji.jp>



東福寺方丈庭園

EVENT CALENDAR 2011 11-12

11/8 **Tues**
8

**公益財団法人 京都産業21
KIIC会員交流会2011**

開催日/11月8日(火)
時間/16:00~19:00
於/KRP1号館4階 AV会議室
主催/(公財)京都産業21
問合せ先/(公財)京都産業21 連携推進部
企業連携グループ
TEL/075-315-8677
URL/<http://www.ki21.jp/kiic/koryukai20111108.pdf>

11/8 **Tues**
8

11/9 **Wed**
9

11/30 **Wed**
30

12/1 **Thur**
1

12/21 **Wed**
21

12/22 **Thur**
22

**平成23年度 再生医療分野の産業化を目指した
実用セミナー「再生医療分野の産業化を目指した
生物学の基礎から臨床応用まで」**

開催日時/第1サークル11月8日(火) 13:20~17:30
11月9日(水) 9:00~12:30
第2サークル11月30日(水) 14:00~17:30
12月1日(木) 9:00~12:30
第3サークル12月21日(水) 14:00~18:00
12月22日(木) 9:00~12:30

於/KRP4号館2階 ルーム1
※11月30日(水)、12月1日(木) 1号館4階 AV会議室
主催/京都リサーチパーク(株)
問合せ先/京都リサーチパーク(株) 開発企画部
TEL/075-315-8476
URL/http://www.krp.co.jp/sangaku/bio_seminar/2011/index.html

12/8 **Thur**
8

KRP Xmas 2011

開催日/12月8日(木)
於/KRP東地区アトリウム
主催/京都リサーチパーク(株)
問合せ先/京都リサーチパーク(株)
営業推進部
TEL/075-315-9333

11/10 **Thur**
10

**Advanced Electronics Symposium 2011
安全・安心・健康のためのエレクトロニクス**

開催日/11月10日(木) 時間/10:00~(交流会17:45~)
於/KRP4号館地下1階 バズホールほか
主催/アドバンスド・エレクトロニクス・シンポジウム実行委員会
問合せ先/(財)京都高度技術研究所 経営支援部
TEL/075-366-5229
URL/<http://www.aes-kyoto.org/>

11/18 **Fri**
18

**京都バイオ計測センター開設記念講演会
(第7回バイオ計測プロジェクト)
「バイオ・ライフノベーションの新しい鍵を握る
バイオ計測の展望について」**

開催日/11月18日(金) 時間/13:00~17:30(交流会 17:30~18:30)
於/KRP1号館4階 サイエンスホール
主催/(財)京都高度技術研究所、京都市、京都バイオ産業技術フォーラム、バイオ計測・試薬研究会
問合せ先/(財)京都高度技術研究所 産学連携事業部連携支援グループ(治田・森井)
TEL/075-315-6619 URL/<http://www.astem.or.jp/biocity/>

編集後記 KRP地区もすっかり秋の装いとなり、最近では自転車で移動するのがマイブーム。本屋さんのディスプレイを覗いたり、手入れの行き届いた植栽の名前を確認して、へえ〜これが紫式部かぁなんてつぶやいたり、顔見知りの方との会釈も快い。10年前に入居したときは工業地帯のイメージが強かったのに、すっかり文化ゾーンになったなぁと思うこの頃です。これからもPRESSはKRPの文化を皆さんにお届けしていきたいと思うのです。(康)

配送・停止・変更のご希望は、右記内容を明記の上 press@krp.co.jpへ

配送 ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です

停止 ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」

変更 ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.